

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2018-143774(P2018-143774A)

【公開日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-036

【出願番号】特願2018-66906(P2018-66906)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月20日(2018.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされる遊技機であって、

抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れる

と遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

前記チャンネルに対して割り当て状態にある音データに応じた音を出力可能な音出力手段と、

操作によって検出可能とされる検出手段と、

前記図柄変動の実行期間中、前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の音データをチャンネルに割り当てるにより前記音出力手段によって音を可聴出力させる音データ制御手段と、

前記音データが割り当てられているチャンネルのうち少なくとも1つを、前記音データが割り当てられていない空きチャンネルに変化させる処理を前記検出手段による検出を契機として実行可能なチャンネル変化手段と

を備え、

前記音出力手段による可聴出力が特定の音データに基づくものとしてチャンネルを使用している状態において前記検出手段による検出があり、且つ該検出を契機として前記空きチャンネルに変化させる処理が行われたとしても、該特定の音データに基づく可聴出力に使用されているチャンネルは前記空きチャンネルにされず、該チャンネルとは異なるチャンネルが前記検出を契機として前記空きチャンネルにされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

しかしながら、上記従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされる遊技機であつて、

抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

前記チャンネルに対して割り当て状態にある音データに応じた音を出力可能な音出力手段と、

操作によって検出可能とされる検出手段と、

前記図柄変動の実行期間中、前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の音データをチャンネルに割り当てるこことにより前記音出力手段によって音を可聴出力させる音データ制御手段と、

前記音データが割り当てられているチャンネルのうち少なくとも1つを、前記音データが割り当てられていない空きチャンネルに変化させる処理を前記検出手段による検出を契機として実行可能なチャンネル変化手段と

を備え、

前記音出力手段による可聴出力が特定の音データに基づくものとしてチャンネルを使用している状態において前記検出手段による検出があり、且つ該検出を契機として前記空きチャンネルに変化させる処理が行われたとしても、該特定の音データに基づく可聴出力に使用されているチャンネルは前記空きチャンネルにされず、該チャンネルとは異なるチャンネルが前記検出を契機として前記空きチャンネルにされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】